

今、注目！「日本ワイン」を探る

～伝統の山梨 VS 革新の長野～

国産ぶどうを100%使用して造られる「日本ワイン」が益々人気上昇中です。今や、北海道から九州まで全国で約300ものワイナリーがありますが、ぶどうの生産量やワイナリー数などが圧倒的に多いのが山梨と長野です。今回は、まさに「日本ワイン」の聖地である両県のワインに絞り込み、こだわりの造り手をご紹介します。



2017年

10/5 (木)

19:00～20:30 【形式】着席スタイル
 (受付18:40) 【定員】30名

19:00 ミニセミナー
 ～産地の特徴と造り手の思い～

19:30 試飲と交流会 *軽食付き
 ～講師による8種類のワインのご紹介～

20:30 終了

※ 講義は収録し、後日Webで公開します。
 なお講義内容を録音・録画することはご遠慮ください。

- 【8種類の試飲ワイン(予定)】**
- 《スパークリング》キザントラディショナル ブリュット(山梨)
 - 《白》アルガブランカ クラレーザ2015 (山梨)
 ベントピア甲州 桜花 2016 (山梨)
 ヴィラデスト プリマヴェーラ シャルドネ 2016(長野)
 - 《赤》ソレイユ クラシック 赤 2015 (山梨)
 グレイス 茅ヶ岳 赤 2015 (山梨)
 五一わいん スペシャル 赤(長野)
 ドメイヌ ソツガ メルロ サンシミ ムラサキ第一北農場 2015(長野)

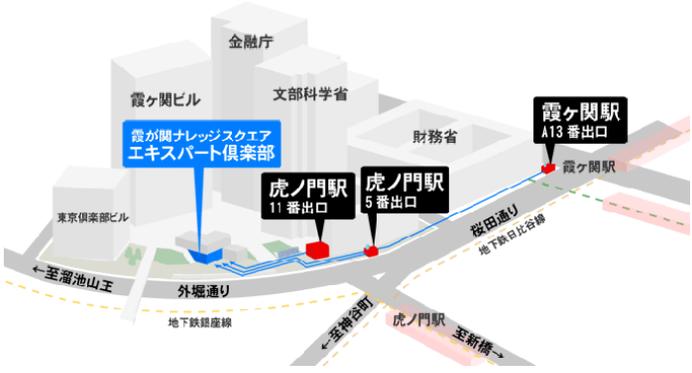
■ 講師 **内藤 邦夫**さん 株式会社カーヴ・ド・リラックス 代表取締役社長



三楽オーシャン(現メルシャン)勤務を経て1999年独立し、東京・虎ノ門にワイン専門店カーヴ・ド・リラックスを開業。現在は虎ノ門、有楽町、六本木、大崎、秋葉原の計5店舗とオンラインショップ(www.cavederelax.com)を運営する。2001年 自社輸入ワインの卸売り業務を開始。世界中のワイン産地を訪問し、独自のネットワークで調達するデリーワインの開発に定評があり、日本を代表するワインショップとしてマスコミにも数多く取り上げられる有名店となる。日本のワインファンはもちろん、海外のワイン生産者・ジャーナリストからも高評価を得ている。近年は日本ワインの普及・啓蒙活動が内藤さんのライフワーク。

■ コーディネーター **華井 弘子** エキスパート倶楽部 ゼネラルマネージャー

■ 会場 霞が関ナレッジスクエア 交流カフェ
「エキスパート倶楽部」
 東京都千代田区霞が関3-2-3
 霞が関コモンゲート アネックス1階(天野歯科隣り)



・銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩1分
 ・丸ノ内線、千代田線、日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩5分

■ 参加費 **3,500円** (税込)
 *KK2 有料メンバーは500円引き
〈事前支払〉クレジットカード、銀行振込

■ 申込方法
 KK2のWeb サイトからお申込みください

www.kk2.ne.jp
 ※事前に無料Web会員への登録が必要です



主催：一般財団法人高度映像情報センター(AVCC)
 協賛：株式会社カーヴ・ド・リラックス
 お問い合わせ：霞が関ナレッジスクエア 事務局
 電話：03-3288-1921 (9:00～17:30 月～金、平日のみ)